

さざなみ

須崎市教育研究所 発行
令和5年5月23日

ごあいさつ

令和5年度が始まりました。学校教育関係の皆様方におかれましてはご多忙の毎日をお過ごしのことと存じます。日頃は、須崎市教育研究所の事業にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、須崎市教育研究所の歴史は長く、今年で37年目を迎えました。本研究所は「須崎市教育の振興を期するため、学校、保育園、幼稚園、教育関係諸団体、保護者及び地域の人たちと連携し、教育実践上必要な諸問題について調査研究するとともに、須崎市の子供たちの生きる力を育むため、教育関係職員の研修や推進プロジェクトを助成するもの」として設立されました。その理念を引き継ぎ、今年度も須崎市の子供たちの健やかな成長と教育の振興を目指して各種教育団体と連携しながら取り組んでまいります。また、最前線で子供たちを指導する先生方の貴重な実践を市内で共有し、市内全体として高めあえるようにサポートしていきたいと思っております。特に今年度は以下の通り「ICT教育」や「プログラミング教育」を研究の柱としております。ICTを活用した授業やプログラミング的思考を意識した授業を行う際は、是非事前にご連絡いただければと思っております。参観及び支援をさせていただき、研究に生かしたいと考えております。ICTの活用についてのご相談もお受けいたします。

今年度も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

令和5年度 主な事業

- ① 教育における今日的課題についての調査研究
 - ICT教育の推進
 - プログラミング教育の推進
 - 不登校・不登校傾向の児童生徒の諸問題の改善
- ② 教職員研修の実施・運営
- ③ 教育支援センターの活動支援
- ④ 読書活動の推進
- ⑤ 教科書センター業務

須崎市の教科書センターは常設展示となっております。

「他の出版社の教科書ではどう扱っているだろう」「他の校種とはどのように繋がっているだろう」など、是非教科書センターの教科書をご活用ください！



明神SSW 市原SSW 西山SSW
西本研究教諭 西村所長 チェルシーCIR

「明るく元気に頑張ります！」

【場所】須崎市総合保健福祉センター3F

【電話】0889-40-0078

【FAX】0889-40-0073

【E-mail】susaki-l@city.susaki.lg.jp

【職員】

所長：西村 浩司

研究教諭：西本 一也

SSW：西山 由美子 明神 由美子 市原 梨沙

CIR：Chelsea Marie Lopez

教育研究所
紹介



学校訪問

主に教育委員4名・教育長・学校教育課長・指導主事2名・研究所所長・研究教諭・須崎市学校事務支援室2名、計12名が毎年、市内全ての小・中学校を訪問して全ての学級の授業を参観した後、学校の管理職・研究主任と協議をしています。目的は、各学校の教育計画や取組等に関する情報を知り、それについて教育委員会として対応や支援ができること等について話し合うことです。どの学校も落ち着いて学習に取り組んでいます。ICTを積極的に活用して協働的に学びあう姿も見られています。この後に控えている訪問でも子どもたちの学びに向かう姿を見られるのを楽しみにしております。



ICTのとびら

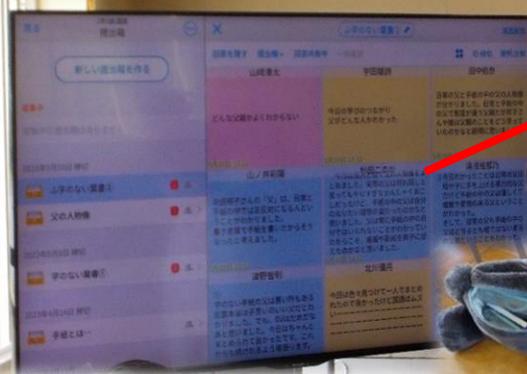
○活用のメリット

- ・修正が容易
→「とりあえず書いてみる」ということができる。
- ・過去の自分の記述からコピー＆ペーストできる。
→時間短縮。思考時間確保。
- ・学級での一斉共有が簡単
→友達の意見を参考に修正できる。
- ・色分けにより、理解度やその変化などが一目で分かる。

○デメリット

- ・「書く」という経験が減少する。
- ・タイピング技術の差がそのまま作業自体の差になる。
→タイピングの習得は必須！

【活用例】



ワークシートをタブレットで作成し、直接入力させることで「配布・回収」の時間を大幅に削減。学習の記録も残しやすい。

振り返り提出時の色分け
ピンク：分からなかった
黄色：少しは分かった
水色：よく分かった



先生方が機器を積極的に活用する授業は多く見られるようになってきました。今後は、児童生徒が機器を主体的に活用できるような授業が一般的になっていくでしょう。先生方の「こんなことができたらいいのに」を実現する可能性をICTは秘めています。効果的な活用方法の情報提供もよろしくお願いいたします。